

浦添城跡周辺のモデルコース

歩こう! 学ぼう! 浦添市!

1 安波茶橋と石畳道 [国指定史跡]

MAP



首里城から続く琉球王国時代の宿道で、沖縄県北部まで続く当時の主要道路だったそうです。現在は安波茶橋を中心とする一部が復元保存されています。1597年に浦添グスクから首里平良までの道を整備したときに造られたと考えられます。



2 浦添城跡 [国指定史跡]、浦添グスク・ようどれ館

3 当山の石畳 (別名:馬転ばしの石畳)

MAP



首里と本島中部をつなぐ「普天間街道」の一部。琉球王国時代、国王はこの道を通って首里城から普天間宮へと参詣したといわれています。かつては「馬ドッカーラン (馬転ばし)」と呼ばれる、馬が転ぶ程の急坂が続き交通の難所として知られていました。



4 浦添大公園 (ふれあい広場ゾーンのすべり台)

MAP



ローラースライダーの他にも滑り台や大型アスレチックなどの遊具が充実しており、週末になると多くのファミリー客でにぎわいます。遊具の周りはクッション性のあるラバー敷きになっているので、転んでも大丈夫! 幼児にもやさしいからパパママも安心!



5 いしぐふー浦添大公園店

MAP



いしぐふーの浦添大公園店は大公園の展望台1階というユニークな場所にあります。ごはんまりとした店舗ながら、カウンターが二つにテーブル席も用意されています。天気の良い日なら言うことなし。



ACCESS MAP

アクセスマップ



バス停名	
A	小学校前 [県道38号沿い]
B	仲間 [県道153号沿い]
C	茶山団地前 [県道153号沿い]
D	浅野浦 [国道330号沿い]

歴史ガイドツアーも随時受付中です! ※詳しくは中面をご覧ください。

浦添グスク・ようどれ館



古写真や発掘調査成果のパネル、出土遺物などから、浦添グスクと浦添ようどれの歴史が分かりやすく学べます。実物大で再現された浦添ようどれの西室(英祖王陵)は必見です!



MAP

【開館時間】午前9時~午後5時
 【入館料】大人(高校生以上)100円
 小人(小・中学生)50円
 ※市内小中学生は無料
 【休館日】月曜日(祝日の場合は開館)
 12月28日~1月3日

【電話】098-874-9345
 【駐車場】25台
 ★移動時間の目安
 浦添城跡、浦添ようどれまで徒歩10分

浦添グスク 周辺情報なら

うらそえナビへ!



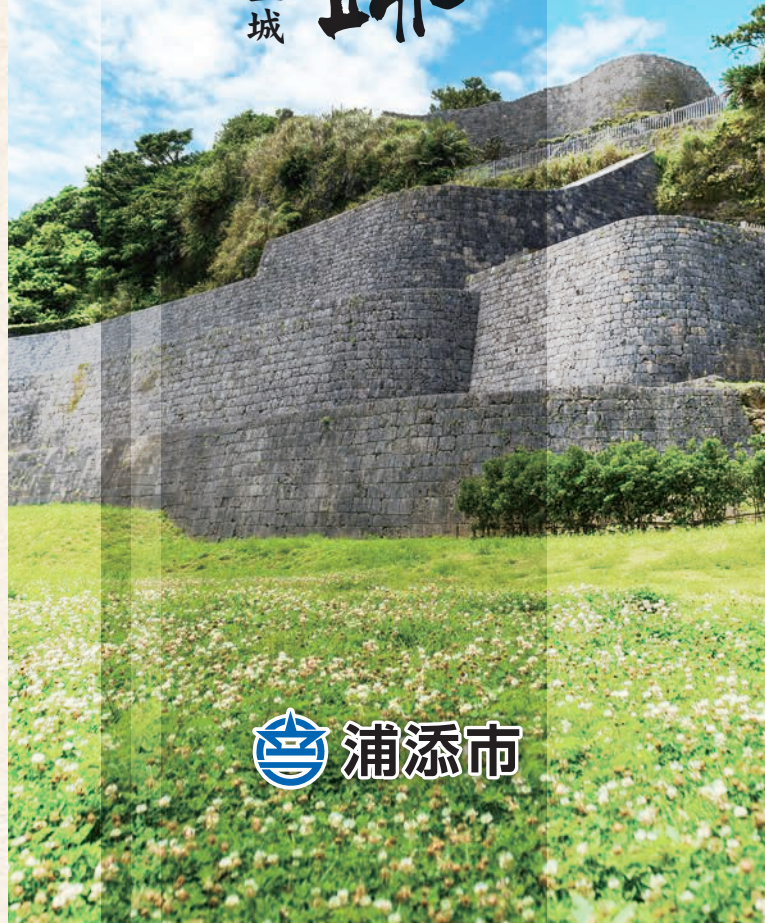
観光、ショッピング、グルメ♪ 宿泊、体験 穴場スポットも盛りだくさん!

<http://www.urasoenavi.jp/>

誰もが楽しめるテーマ別「うらそえ巡り」などの浦添市のディープな特集も充実しています! 「うらそえナビ」へ Let's アクセス!!

浦添城跡
 首里城以前の中山王城

国指定史跡



浦添市

浦添城跡

13世紀に築かれた浦添グスクは、14世紀には高麗系瓦葺きの正殿を中心に、石積みで城壁を囲まれた大規模なグスクとなりました。その周辺には、王陵・寺院・大きな池・屋敷・集落などがあり、後の王都・首里の原型ができあがっていたようです。

王宮が首里に移った後、尚真王の長男・尚維衡が浦添グスクに居住しました(浦添家)。

その後、1609年に薩摩藩の琉球侵攻により、浦添グスクは焼き討ちにあいました。

映画の舞台として描かれた前田高地

浦添城跡一帯の丘陵は沖縄戦当時「前田高地」と呼ばれ、日米両軍の激戦が繰り広げられました。第89回アカデミー賞で録音賞と編集賞を受賞した「ハクソー・リッジ」の舞台となった前田高地。2016年、米本国での公開後は多くの人々がこの地での戦いに関心を持ち、日本人・外国人を問わず足を運び方が増えています。



浦添グスク・ようどれ館



仲間バス停方面

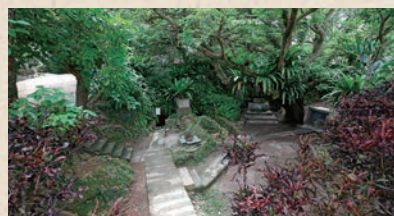
うらそえ歴史ガイドツアー 随時受付中です！

浦添グスクをはじめとした、市内の史跡や歴史スポットを有料でガイドします。団体でのご利用や、コースや時間などをご相談に応じます。お気軽にご相談下さい。

料金/ガイド1名当たり (20名まで対応可)
●1時間コース：1,500円 ●2時間コース：3,000円
申込先：浦添グスク・ようどれ館 ☎098-874-9345



1 浦添ようどれ
13世紀に造られたとされる墓で、向かって右の西室が英祖王陵と伝えられています。1620年に改修され、左の東室に尚寧王とその一族が葬られました。西室は浦添グスク・ようどれ館にて実物大で再現されています。



2 ディーグガマ
鍾乳洞が陥没してきた窪地で、地域の方々に拜まれる御嶽です。ディーグの大樹があった洞窟(ガマ)が名前の由来です。戦時中は住民の避難所として使われました。



3 松林地区
この地区で石敷きや石列といった遺構や明朝系瓦(中国系の技術で造られた瓦)などが発掘されました。浦添城内にあったとされる番所の跡と推測されます。



4 浦添城の前の碑・石畳道
浦添出身の尚寧王が、1597年に首里と浦添城をむすぶ石畳道を整備しました。そのときの竣工記念碑が「浦添城の前の碑」です。碑の表にはひらがなの琉球文、裏には漢文で、石を積み橋を架け、岩を刻み道をつくったことが記されています。



5 ワカリジー
浦添城跡の東端に高く突出した石灰岩で、今なお人々の信仰を集める拝所(御嶽)です。ワカリジーの頂上は浦添市内で標高が最も高く(148.1m)、浦添のランドマークになっています。

1/700サイズの浦添グスク模型で学ぶ!

浦添大公園南エントランス 管理事務所展示コーナー



1/700サイズの浦添グスク模型や浦添市の歴史年表をはじめ、浦添グスクに関連する貴重な資料が揃います。うらそえ歴史ガイドがいますので、気軽に声をかけてみてください。



MAP

【開館時間】午前9時～午後5時
【入館料】無料
【休館日】月曜日(祝日の場合は開館) 12月28日～1月3日
【電話】098-876-3555
【駐車場】30台

★移動時間の目安
塚まで徒歩9分
浦添城跡まで徒歩15分
浦添ようどれまで徒歩25分

安波茶交差点